

2020年時点で、不登校といわれている小中学生は18万1272人、直近の5年で約1.5倍。
このうち90日以上欠席者は不登校生徒の55.6%、高校生以上では5万100人といわれています*。
コロナ禍の今、豊かなコミュニケーションを望めない学校生活により、
今後さらに増えていくことが懸念されます。

2016年に成立した教育機会確保法によって、学校に行けなくなった子ども達の休養の必要性が認められ、
個々の状況に合わせた学習も推奨され始めました。

しかし実際には、不登校児童・生徒が社会性を育む学びを得られる場が「学校」以外には非常に少なく、
あったとしても費用がかさむなど、十分な支援が届いていないという声が多く聞かれるのが現状です。
また「学校に行かない」という選択によって集団から外れたことで、
自己肯定感を得られず、先の見えない不安と共に過ごす家庭が多くあります。

多様性が大きく謳われる昨今、「学校に行く」という選択肢のみにとらわれることなく、
子ども一人ひとりの個性に寄り添う学びのかたちを、現実的に考える時に来ているのではないのでしょうか。
このシンポジウムを通して、不登校当事者やその家族だけでなく、一人ひとりが、
地域のことをじぶんごととして考える機会とし、様々な立場から活発な意見を交わして、
小金井らしい「多様性」のヒントを見つけられたらと思います。

※文部科学省『令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要』より抜粋

学校に行く？

行かない？

最新情報は
こちらで
チェック！

第1回 HP



お申込メール



～子ども達の多様な学びを考える～ 不登校支援シンポジウム オンライン・イベント

第1回 経験者に聞く
2021.6.5 (土) 13:30～15:30
限定150名

第1回 HP
<https://coconocokoganei.wixsite.com/coconoco/symposium01>
お問合せ・お申込：ココノコ coconoco2019@gmail.com
左のQRコードからどうぞ。

講師：石井志昂氏 (全国不登校新聞編集長)



テーマ
「不登校経験者の
思いと歩み」

石井志昂 (いしい・しこう)
1982年、東京都町田市出身。

中学校受験を機に学校生活があわなくなり、教員や校則、
いじめなどを理由に中学2年生から不登校。同年、フリー
スクールへ入会。

19歳からNPO 法人全国不登校新聞社が発行する『不登校
新聞』のスタッフとなり、2006年から編集長。これまで、
不登校の子どもや識者など400人以上に取材してきた。

みんなで育てる・考える



*参加費 (1回) ¥500 (場所代・資料代・お茶菓子代)
*来られる時のみの参加で大丈夫です。
*参加ご希望の方は、メールでお問い合わせください。

「ココノコ」は、不登校の親たちの悩みを語り、情報交換をする場です。

子どもを地域ぐるみで見守り、みんなで次世代を育む。
そんな優しいつながりを紡ぎながら、子どもたちがもっと自由に教育を選択でき、
多様性を認め合える、そんな社会になったらいいなあと、ココノコは考えています。

2019年より小金井市内で、不登校の親が集まり自分たちの思いを話す(放す)
場を月一回開催しています。
これまでの延べ参加人数、約160人。

HP <https://coconocokoganei.wixsite.com/coconoco>
FACEBOOK <https://www.facebook.com/coconocoKoganei/>
E-MAIL coconoco2019@gmail.com

HP



学校に行く？
行かない？

～子ども達の多様な学びを考える～
不登校支援シンポジウム
第2回 支援者に学ぶ
～支援の現場から見てくるもの～
2021.8月中旬開催予定

不登校支援に携わっているフリースクールの職員や、教育関係者などの
方々によるトーク・セッション。現場の声をお聞きしながら、多様な学
びや不登校支援の今後のあり方を考えます。

*日時等、開催の詳細決定次第、順次ホームページに情報を
載せていきますので、ご確認ください。

第2回 HP
<https://coconocokoganei.wixsite.com/coconoco/symposium02>
お問合せ coconoco2019@gmail.com

第2回 HP

